

お民医連

2024年1月22日発行

【8面オールカラー】発行部数2,970部

第309号

発行元／青森県民主医療機関連合会

所在地／〒030-0803 青森市安方1丁目11-6
安方クリニック 1F

TEL. 017 (723) 4076

FAX. 017 (773) 5326

URL <https://aomin.jp/>

e-mail info@aomin.jp

謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



青森県民主医療機関連合会

会長 田代 実

新年あけましておめでとうござ
います。昨年も患者・利用者、地
域住民の生活に寄り添い、人権を
守る医療、介護、福祉活動の取り
組みに尽力されたすべての県連職
員に心から敬意を表します。

◆日本の生活困窮者層と高齢者の 生活実態

自立生活サポートセンターもや
いの大西氏は、「貧困」は失業や
無収入のみでなく、「新しい生活
困窮者層」として「生活不安層」
（これまで「自立している」と見
られていたが、恒常的に低所得で
生活の不安を抱える層）を把握す
ることの重要性を指摘しています。
日本の高齢者の生活実態を概観
すると、高齢単身世帯では、月の
収入124,710円に対して支
出151,800円であり、月に
27,090円の赤字となってい
ます。この赤字分は、貯蓄を取り
崩したり、再就職（多くは不安定
就労）による収入によって補填し
ていると推測されます（なお、高

齢者世帯の貯蓄は「貯蓄200万
円未満」が26・7%、「貯蓄な
し」が14・3%）。

このような家計・就労をはじめ
とした実態は、「決して特別な階
層に限ったことではなく、広く国
民全体に共通する社会問題」（石
田一紀氏）となっています。現在
50代の働き盛り世代は、非正規雇
用率が高く、年金未納・中断率も
高く、さらに、40代、30代にお
いても貧困の実態は質的・量的に悪
化している、と言われます。

◆声なき声を束ね、対立から連帯、 共同へ

先の石田氏は、次のように述べ
ています。「私たちは、声なき声
を抱え地域に潜在化している人々
の実態を見失ってはならない。地
域において、年金をはじめとした
社会制度や社会関係から切り離さ
れて、孤立無援の状態にある人
々、その存在・状態が社会的に
潜在化し、孤独死さえも危惧され
る状態にある人々、その声なき
人々の底辺からの声、その実態
を、集約し可視化していくこと、
それを土台に地を足つけた実践
を広げていくことが、今後ますま
す問われていく」と。

約40年前、1980年代初頭か
らの新自由主義政策は、日本を本
当に酷い社会にしてしまったと思
います。しかし、私たちはこれを
乗り越えることができるし、その
鍵は、人権と民主主義であろうと

考えます。

「人権について国連の人権高等
弁務官事務所は次のように説明し
ている。生まれてきた人間すべて
に対して、その人が能力を発揮で
きるように、政府はそれを助ける
義務がある。その助けを要求する
権利が人権。人権は誰にでもあ
る」（藤田早苗氏「武器としての
国際人権」）。

私たちには、「自己責任論」か
ら抜け出し、「人権はすべての人
が持つものである」ことを確認
し、「政府（行政）にそれを要求
すること」が求められています。
そのために民主主義を再建する
（一人ひとりが主権者となる）こ
とが重要だと考えます。

日本社会が立ちゆかなくなっ
ていることが、日々実感される中
で、日常の医療・介護・福祉活動
に誠実に取り組むことともに、今
年は地域社会と広く深く結びつ
き、地域から人権を守る事業と運
動を進めていくことを展望したい
と考えます。
本年もよろしくお願いいたしま
す。

《お薦め文献》

- ①「人生百年時代」の困難はどこ
にあるか（石田一紀ほか、新日
本出版社、2023年）
- ②武器としての国際人権（藤田早
苗、集英社新書、2022年）

青森県民医連第57期役員

役職名		氏名		職種	
会長	田代 実	医師	田代 実	医師	田代 実
副会長	伊藤 真弘	医師	伊藤 真弘	医師	伊藤 真弘
事務局長	相馬 達也	事務	相馬 達也	事務	相馬 達也
事務次長	宮本 真人	事務	宮本 真人	事務	宮本 真人
事務次長	佐藤 康史	事務	佐藤 康史	事務	佐藤 康史
事務次長	下田 晋吾	事務	下田 晋吾	事務	下田 晋吾
事務次長	石塚 理仁	事務	石塚 理仁	事務	石塚 理仁
事務次長	泉谷 雅人	事務	泉谷 雅人	事務	泉谷 雅人
事務次長	磯島 寿人	事務	磯島 寿人	事務	磯島 寿人
事務次長	小形 昭彦	事務	小形 昭彦	事務	小形 昭彦
事務次長	奥瀬 尚樹	事務	奥瀬 尚樹	事務	奥瀬 尚樹
事務次長	角山 海	事務	角山 海	事務	角山 海
事務次長	加藤 恵子	事務	加藤 恵子	事務	加藤 恵子
事務次長	菊池 中央	事務	菊池 中央	事務	菊池 中央
事務次長	工藤 眞大	事務	工藤 眞大	事務	工藤 眞大
事務次長	越田 潤子	事務	越田 潤子	事務	越田 潤子
事務次長	古舘 正志	事務	古舘 正志	事務	古舘 正志
事務次長	今 淳一	事務	今 淳一	事務	今 淳一
事務次長	坂戸 慶一郎	事務	坂戸 慶一郎	事務	坂戸 慶一郎
事務次長	崎野 修	事務	崎野 修	事務	崎野 修
事務次長	佐々木 良範	事務	佐々木 良範	事務	佐々木 良範
事務次長	獅子内 和子	事務	獅子内 和子	事務	獅子内 和子
事務次長	鈴木 哲也	事務	鈴木 哲也	事務	鈴木 哲也
事務次長	関谷 修	事務	関谷 修	事務	関谷 修
事務次長	相馬 渉	事務	相馬 渉	事務	相馬 渉
事務次長	高橋 津子	事務	高橋 津子	事務	高橋 津子
事務次長	竹内 一仁	事務	竹内 一仁	事務	竹内 一仁
事務次長	橋本 千景	事務	橋本 千景	事務	橋本 千景
事務次長	對馬 健洋	事務	對馬 健洋	事務	對馬 健洋
事務次長	寺島 由美	事務	寺島 由美	事務	寺島 由美
事務次長	中村 真優美	事務	中村 真優美	事務	中村 真優美
事務次長	奈良原 恵	事務	奈良原 恵	事務	奈良原 恵
事務次長	鳴海 由紀子	事務	鳴海 由紀子	事務	鳴海 由紀子
事務次長	西村 美和	事務	西村 美和	事務	西村 美和
事務次長	原 尚子	事務	原 尚子	事務	原 尚子
事務次長	兵藤 健俊	事務	兵藤 健俊	事務	兵藤 健俊
事務次長	村上 渡	事務	村上 渡	事務	村上 渡
事務次長	村上 将仁	事務	村上 将仁	事務	村上 将仁
事務次長	柳 仁	事務	柳 仁	事務	柳 仁
事務次長	荒木 匡孝	事務	荒木 匡孝	事務	荒木 匡孝
事務次長	工藤 敏子	事務	工藤 敏子	事務	工藤 敏子
事務次長	坂野 友昭	事務	坂野 友昭	事務	坂野 友昭

日頃のご協力・ご愛読に感謝して🌸抽選で22名にお年玉プレゼント🌸応募は定期便・封書・FAXで！
応募用紙及び応募の詳細は本紙8面に掲載しています。抽選結果は次号（3月15日発行）に掲載予定。応募締切／2024年2月14日



第52回 青森県民医連 看護介護活動研究交流集会

11月5日(日)、第52回看護介護活動研究交流集会が開催されました。今年度は「誰もが尊重されるあたたかい地域をつくろう」をテーマに、日々の看護介護活動をまとめた16演題の発表がありました。また、「人権の視点から社会保障を考える～格差の中の死、財政、そして最近のトピックスから～」について 青森県立保健大学教授の反町吉秀氏による特別講演もあり、総勢125名が参加し、実りある交流会となりました。

今年度もオンラインで開催となりましたが、事前に会場の環境調整や機器の操作手順の確認を行い交流会に臨みました。当日音声トラブル等がありましたが無事に講演や発表、講評を終えることができました。

記念講演では監察医の経験から、死を通じて生活状況や格差社会の状況を知り、さらに日本と海外の社会保障制度の統計から、日本での社会保障制度の矛盾や課題を

多角的に捉えたとても興味深い内容でした。またヤングケアラーの動画では、背景にある貧困や孤独、さりげなく支える周囲の人達によって生きる希望を見出す様子が描かれており涙する状況となりました。講演を聞き、社会保障制度やSDHの視点をもとに、小児から高齢者ま

で支援が必要な人に気づき、民医連の職員として出来ることを考え行動していくことが重要だと再認識できました。

各分科会における発表では、小児から高齢者、家族に多職種で向き合った看護・介護活動や業務改善に向けた活動内容や学びが報告され、活発な意見交換をする場にもなりました。多くの参加者にとって交流集会は他事業所や多職種の取り組みを知り、また自身の経験と照らし合わせて新たな気づきを得る素晴らしい機会となりました。

(藤代健生病院 三戸貴恵)



第9回看護管理者研修

今回の看護管理者研修は、長きにわたったコロナ禍を経て3年ぶりの対面開催となり県連全体で計39名の看護管理者が集まりました。

北海道民医連の小内事務局長を講師にお招きし、「今、平和と人権、ケアを考えるー看護管理者の皆さんと共にー」と題して講演をいただき、戦争が大きな凶器となつていのちを奪い人権を侵害するという事や、旧優性保護法下における強制不妊手術での人権・倫理の問題をうけて、私たち民医連看護管理者一人ひとりが参画し、社会を変える運動につなげていく事の重要性を改めて考える機会となりました。合わせて私から「臨床現場における倫理的な事例」について問題提起をし、それぞれに持ち寄った倫理的事例についてグループワークを行いました。倫理的問題を自分たちの日常に引き付けて考えていく事の大切さや、すぐに答えが出なくてもモヤモヤし考え続ける事が、より深い答えにつながるという意識を持つことが出来ました。

対面での研修で「実顔の見える交流」ができ、看護管理者がお互いに元気をもらえた1日となりました。

(藤代健生病院 総看護長 鳴海由紀子)



第1回 青森県民医連

介護福祉士管理・管理補佐研修会開催

11月18日(土)の午後、花岡農村環境改善センターで県連内の介護福祉士管理、管理補佐職対象に集合研修を開催し、37名の参加がありました。開催目的は、民医連介護の後継者育成、経営を理解し経営課題解決につなげられること、他事業所との横の繋がりを深め協力関係を築くことです。

研修内容は民医連の経営管理と医療・介護分野の経営について青森保健生協組織部長・古舘正志氏、生協さくら病院事務長・小山内海氏より講義

を受け、その後業種別グループワークで講義を受けての事業所運営の課題を話し合いました。

講義では基本的な経営資料の見方から、経営目標づくりと考え方、医療介護の情勢から全職員経営の必要性和経営維持するためのポイント、そして「たたく経営」としてサービスを必要としている利用者様のため、我々の生活を守るために民医連らしく制度改善行動の必要性も共有できました。

参加者アンケートから「経営について意識するポイントが確認できた」「数字の意味を理解できた」「同業種と課題の共有や意見交換できた」など勉強になったという意見が多く、今後に活かせる結果となったようです。

今後も今回の研修のように、介護専門職として課題解決能力向上や質の向上を目指し、県連全体を巻き込みながら活動して行きたいと思います。

(健生介護センター虹 工藤真大)



11月9日-10日

2021年版職員育成指針 実践交流集会に参加して



11月9日(木)、10日(金) 御茶ノ水カンファレンスセンターにて2021年版職員育成指針 実践交流集会が開催され、全国の県連から約200人が参加しました。青森県連の教育委員会の取り組みの中で「旧優生保護法の学習」について、高橋亜美医師が指定報告をしました。

まず、全日本民医連の岩須事務局長より職員育成指針の意義と特徴の説明がありました。コロナ禍で教育学習の機会を減らすことなく、オンラインなど新しいツールを活用してバージョンアップできた全国の取り組みの紹介がありました。また21年版教育指針の特徴として『育成活動の拠点を職場に』より身近な仲間と環境の中で育ちあえることを掲げています。全体会では県連単位での制度教育が充実している鳥取と熊本と京都、長野民医連から生協組合員や多職種と連携した活動の紹介がありました。

学習講演では岡山県労働者学習協会事務局長の長久啓太氏より「発達の土壌づくりを担うみなさんへ」というテーマでお話いただき

ました。人材育成のすむ職場づくり、教える側と学ぶ側が問題意識と憧れを同じベクトル方向で持つことの重要性が印象的でした。2日目は3つの分散会に分かれて実践交流をしました。

健生病院の高橋亜実医師が青森県連代表で旧優生保護法の学習の取り組みについて指定報告をしました。教育委員会に医師が参加していることが珍しいと高橋医師には参加の経緯の質問があり、最終全大会の分散会報告でも発言が求められ大人気でした。

県連教育委員会では来年度の制度教育の計画を始めました。学習のテーマや方法、教える側、学ぶ側の視点等、今回の交流集会で得たものを活かしていきたいです。

(健生病院 上野山美聡)

2023年度 中期研修

～心理的安全性を高める職場づくり～

11月7日、15日、20日、21日、30日に、青森・弘前・八戸の3会場にてサテライト形式で県連中期(中堅Ⅱ期)研修を開催し、5日間で186名の参加でした。本研修では、今回の講義1回で終了ではなく、研修内で職場の心理的安全性を高める取り組みを計画し、来年1月末まで実践し、評価(=レポート提出)してもらうことが最大の特徴です。

講師に、岡山県労働者学習協会事務局長の長久啓太氏を迎え、心理的安全性の基礎知識の他、チーム全体での実践編とリーダーの実践編とを具体例を交えた講義をしていただき、とてもわかりやすく好評でした。講義後は、各自で心理的安全性を高める取り組みを計画し、グループワークにて、今後の取り組みや講義の感想などを共有しました。

長久氏は、心理的安全性は一朝一夕で高めることは出来ず、まずは出来ることを一つ一つ積み重ねることが大切だと話されていました。1月末までの短い期間ではありますが、多くの目標に取り組み、職場にどのような変化が生まれるのか楽しみにしています。

(津軽保健生協 長谷川聖)



青森保健生活協同組合
事務員

さとう めい か
佐藤 萌香さん



入職して2年目となり、最初はよくわからなかった仕事も円滑に行うことができるようになったことで、少しずつ自信がついてきました。自分の担当する業務についても理解が深まり、質問にもすぐに受け答えができることが増え、成長を感じています。とは言うまでもまだまだ知らないことも多く、慌てしてしまうこともよくあります。職員や組合員の皆さまに安心・信頼してもらえるような職員になりたいと思っていますので、日々学びながら今年も頑張りたいと思います。

あけぼの薬局八戸店
事務員

たなか ゆ み こ
田中 由美子さん



今年は診療報酬改定がありますので、業務の効率化や新たな仕組みの導入を目指したいと思います。また、職場の業務を円滑に進めるための仕組みづくりに取り組みたいと思います。まずは自分の強みや弱みを受けとめ、習慣や興味のある事を整理し、気持ちに余裕を持ちたいと思います。また、自分一人では抱え込まず、周囲の人に相談し協力を得られるよう心がけて、新たな発見の多い年にしたいと思います。

自治体キャラバンに参加して

10月26日～11月8日中弘南黒西北地域にて自治体キャラバンが開催されました。社保平和委員会担当として10月30日(月)、大鰐町との懇談に参加しました。国民健康保険料(税)減免対象の拡大については、近隣市町村の動向を踏まえ検討すると回答があり、依然進展がありませんでした。また生理用品のトイレ設置に関し、以前トイレに設置した際、中学校で生理用品の後片付けが粗末であったことを受け、小中学校ともに保健室設置に変更したと回答がありました。参加者より、保健室設置では使いたくても言えない子どもの心理や生活背景も踏まえ、トイレに設置するよう要望しました。生理用品の使用法や片付け方の指導も学校の保健指導などではないかと疑問が残りました。地域住民の社会保障、生活保障がより豊かになるよう継続的な運動の必要性を再認識する機会でした。

(津軽保健生活協同組合 下林夏希)

2023年度 県連薬局活動交流集会

昨年11/11(土)、あおもり協立病院多目的室で薬剤師41名が参加しました。4年振りの集合開催とあって、こういう機会を待っていたかのように意見が飛び交い、ときおり笑顔が見られ、薬剤師集団の交流が深まった集会となりました。

今回のテーマは昨年9月に開催された『全日本民医連薬剤師部門代表者会議』の「問題提起」と、その会議で「指定報告」として保険薬局における在宅医療活動について発表した内容を、県連薬剤部門2人の理事である相馬渉委員長、西村美和副委員長が報告しました。民医連薬剤師の2つの視点と5つの目標を学び、日常業務から感じた社会が抱える問題を通じて、社会的に果たす「民医連薬剤師が担う役割」の理解を改めて深める機会として企画したところ、後のアンケートでは多く共感する意見や感想が寄せられました。

恒例の1年目薬剤師紹介では、人となりの紹介を動画で驚かせる内容もあり、集合開催ならではの臨場感のある感嘆した声を聞くことができたり、単に自己紹介だけで終わることなく先輩薬剤師の背中を追って将来の薬剤師像まで掲げた発表を聴いて、先輩薬剤師も「後輩から刺激をもらった」など感想が寄せられました。

後半はコロナ禍の中の3年間、薬剤師が学会等で発表した各薬局で何を実践し前進できたのか交流する内容を共有する企画をしました。演題報告がなかった法人、参

加者が少ない法人もあり残念な一面もありましたが、「職場の業務で実践していきたい」「薬業連携に生かしていきたい」など前向きな感想が多数寄せられました。

3時間30分の交流集会は、「最初は長いと思ったがあっという間に終わった」「こういう機会は毎年開催してほしい」「次回は親睦会をしたい」といった意見があがり、県連薬剤師集団化の機運が高まる交流集会を今年も開催したいと思っています。(青森民医連 立花典明)



藤代健生病院
看護師

あらかわ しほ
年女 荒川 志穂さん

年女ということも気づかぬくらい、毎日が充実?し、あっという間によい年頃になってしまいました。

今年は、子ども3人のトリプル卒業&入学という、目が回りそうな1年になることは確実でして、なんとか無事に終えることが直近の目標です。

また、私に関しては、いつも元氣な印象を持たれている方も多いかと思いますが、いろいろと治せない体の不調(老化...)を感じるこの頃でもあり、とにかく健康で家族楽しく過ごせればよいなと思っております。



藤代薬局
薬剤師

みずき けいすけ
年男 水木 啓介さん

株式会社ファルマに入社し、藤代薬局に配属されてからまもなく2年が経過しています。この間、様々な仕事に携わり、様々な経験をさせていただきました。

少しずつ仕事に慣れてきたものの、振り返ると「成功」よりも「失敗」や「後悔」が多く、自分にはできないことがまだまだ多いということを自覚させられます。

今年も引き続き目の前の仕事に取り組み、考えることや悩むこと、知識を身に付けることを通じて、自分のできることを少しずつ増やしていきたいと思っております。

2023年度

医系合同奨学生 フィールドワークin八戸

10月29日(日)に八戸市みなと体験学習館で行われた学習会に参加してきました。

弘前から八戸はバスで3時間と遠く、早朝の出発となりました。

体験学習館見学、八戸医療生協の看護師の講演を受けたあと、SGDを行いました。

奨学生の皆さんは震災当時には園児や小学生だったことに驚きつつ、あの震災から12年も経ったのかと感じるとともに、「まだ12年しか経っていない」という現地の人たちの言葉が印象に残りました。ニュースなどでは福島原発事故や宮城・岩手のことが大きく報道されるのに対

し、八戸市での地震、津波に関してはほとんど報道されず、同じ青森県内での出来事でありながら無知だったと思いました。また、八戸市の津波の歴史から地域の人たちは「地震＝津波がくる＝高台に移動する」という動きが根付いているということに感心しました。震災後の医療支援時は「お薬手帳」の重要性や紙カルテなどのアナログなものが役立ったと聞き、普段は便利な電子化が災害時には全く利用できなくなることを再認識しました。



また、自主的に活動出来る人以外は支援に来て欲しくないという率直な言葉もありました。突然の災害に備えて普段からの準備や意識が大切であり、医療従事者として何ができるのかを考えさせられるいい経験となりました。

(藤代健生病院 中西奈美)

は2回目の参加でしたが、前回はコロナ禍で完全オ断。全国青年ジャンボリーは2回目の参加でしたが、前回はコロナ禍で完全オ断。参加者が投票して終了しました。



(あおもり協立病院 成田雄一郎)

11月24日(金)・25日(土)、まちなか温泉青森センターホテルにて第40回全国青年ジャンボリーが開催されました。各県連と全国を繋ぐハイブリット方式で、青森県連からは37人が参加しました。5つのグループに分かれて、1日目は自己紹介やジャンボリーネームを決める所からわいわい賑やかにスタート。「カクワカ広島」高橋悠太さんの核問題に関する講演後はグループ内で討論を行い、様々な異なる意見が飛び交いました。夜の交流会では、美味しい食事とゲーム企画で盛り上がり、職場やプライベートの話でつながりが深まりました。2日目はグループごとにテーマ別セッションが行われ、その後は全国から8県連の代表が地元のお菓子をアピールし、参加者が投票して終了しました。

第40回全国青年ジャンボリー

直接的な交流を通して実感した『つながり』

青森民医連公式 ▶ ピースメイトタオルができました

1枚1,000円で販売いたしますので、平和行進や各種集会・研修会・まつり・組織活動等に、民医連のユニフォームとしてぜひご活用ください。

ご注文・お問い合わせ先 ▶ 県連青森事務所・相馬 Mail:souma@aomin.jp TEL:017-723-4076



健生病院
助産師

あほこ 阿保 たか子さん

振り返ると産婦人科開設してからうなぎ登りだった分娩数、月の予約100件以上、あまりの多さに分娩制限も。毎夜呼び出しされる齋藤先生は乳飲み子を分娩室の前のストレッチャーに寝かせて(置いて)分娩へ。深夜明けの小児科外来は患者がモリモリ、田代先生、小島さん、佐々木さん、懐かしいですね。現在の分娩数は当時の1/10程度かな。今年の目標は、自宅の筋トレルームでトカゲのレオパと足腰を鍛え登山に挑み、猫2匹をクタクタになるまでジャンプさせて遊ばせる事です。



自立訓練(生活訓練)事業所(多機能型)「しばざくら」
生活支援員

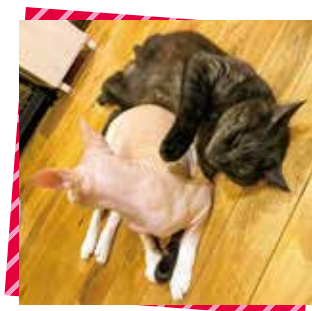
いたがき まさゆき 板垣 政行さん

平成31年4月に花へ入社しました。初めは解らないことだらけでしたが、諸先輩からの大丈夫ですよの励ましの言葉に救われ早5年が経ちました。日々の業務には、柔軟性を持ちながら的確な助言・指導、冷静な判断力、調整力が必要になってきます。

今年も色々な経験を積み、利用者さんにとって心地よい環境を探索しながら、人生設計の一助になる自助・互助・共助・公助を大切に頑張っています。

うちのメゴっこ

vol. 76



♥ name

保護猫 しるこ (黒色・オス)

先住猫 きなこ (黄色・オス)

先住猫 あんこ (灰色・オス)

私の三つ星★★★

オススメ 御食事&喫茶 喰亭(くいてい)

私が勤務している生協さくら病院(青森市問屋町)近くにある『御食事&喫茶 喰亭(くいてい)』をご紹介します。このお店の特徴は何といってもそのボリュームで、メニューによってはダブル・トリプルなどもあって、ガッツリ食べたい人にお勧めです。

メニューも大変充実しており、美味しいうえに値段も手頃で、とても満足できます。店内には、キン肉マン(小学生の頃、キン消しを夢中に集めてました)などのフィギュアが飾られており、BGMにはクラシック音楽が流れているなど、店主さんのこだわりが随所に感じられる非常に良い雰囲気のお店です。

当院にお越しの際にでも、是非お立ち寄りしてみたいかがでしょうか？

(生協さくら病院 小山内海)



とんかつ定食大盛



カツカレー

2022年1月5日 診療所の前で半分凍った状態で保護された子です。大量の眼脂で目も開かず、身体は冷え冷え。せめて亡くなる時くらいは暖かい場所で…と、会議室のストーブ前に移動。そのまま家に連れて帰って見たら、予想外にもひと晩で奇跡の復活！

早2年。何ひとつ病気もせず、すくすく育ちました。

動物病院は大の苦手。はっきり見えるほど震え、肉球は手汗でびしょり。

インターホンが鳴るとダッシュで寝室に駆け込み、お客さんの滞在中はトイレも我慢して引きこもります。どうにも人には慣れにくいのですが、それだけ過酷な環境で育ったのかもしれない。

半年くらい前から、家の中では甘えん坊気質を大開放してくれるようになりました。先住猫の兄ちゃん達ともすっかり仲良しです。これからもめくめく布団やおいしいご飯で幸せに暮らして欲しいです。

(健生黒石診療所 長谷川弘美)

1月 2024年1月 第56期第21回理事会報告

- >> 1. 会長あいさつ
- >> 2. 全日本民医連理事会報告関係
- >> 3. 決裁・承認事項
 - (1) 県連・地協・全日本関係
 - ① 奨学生関係
 - (2) 各種委員会から
- >> 4. 協議事項
 - (1) 全日本民医連第46回定期総会
 - (2) 第57回青森県民医連総会に向けて
 - (3) 能登半島地震に伴う義援募金ご協力をお願い
 - (4) 青森県民医連学術運動交流集会開催要項
- >> 5. 医師・医学生関連
- >> 6. 報告事項
 - (1) 全日本民医連通達・声明、地協関係
 - 1) 【声明】2024年診療報酬改定率に強く抗議し大幅な再改定を求める
 - 2) 【声明】健康保険証を廃止する閣議決定に断固抗議し撤回を求める
 - 3) 緊急地協・県連経営委員長会議のお知らせ
 - 4) 第52次・53次辺野古支援・連帯行動開催日程の案内
 - 5) 医師増員を求める、医師・医学生署名をすすめる方針
 - 6) 薬局法人経営学習会のお知らせ
 - 7) SW県連代表者会議・指導者研修会問題提起
 - 8) 第3回社保委員長学習交流会のお知らせ
 - 9) 通達一覧
 - (2) 地協
 - 1) 事務幹部学校 第4クールの案内
 - (3) 県連・共闘関係
 - 1) 2024年度診療報酬改定について
 - 2) 前回県連理事会議事録
- >> 7. 各法人・事業所から

介護付き有料老人ホーム生協たむかいの家
介護員

いしばし まい こ
年女 石橋 舞子さん

入職してからたくさんの入居者様と出会い、看取りケアを経験したことは、私にとって大きな経験でした。長い人生の中で初めて会う私たちに、人生と身をもって、毎回たくさんを教えてください。入居者様と笑顔で過ごす日々は私の大切な思い出です。

健康を一番に！どんなこともポジティブに笑顔で過ごせたらと思います。仕事もプライベートもパワフルに過ごしたいです。大好きな登山もたくさん行きたいです！

居宅介護支援事業所野いちご
主任介護支援専門員

く どう たかし
年男 工藤 隆さん

入職したのが平成23年1月で、気が付くと社会福祉法人虹で2度目の年男を迎えることができました。目標としていた主任介護支援専門員を去年取得することができ、日々の業務に活かしながら働いています。年男として特別な抱負はありませんが、これからも知識を深めながらスキルアップして、チャレンジしていくことで、自分を高め周囲に貢献したいと思っています。また、感謝の気持ちを忘れず、これからも人々との繋がりを大切にしていきたいです。

2023年度 青森民医連 事務職責者研修

職場のコミュニケーション&メンタルコーチング



講師の津村 恒広氏（つむちゃん）

今年度20年ぶりに「事務政策」が改訂されたことを受
け、弘前聖愛高校野球部を甲子園に導いたメンタルプロ
コーチ津村 恒広氏を講師に招き、11月25日（土）浪岡中央
公民館にて事務職責者研修を行いました。参加者は主任以
上の事務職員や薬剤師・MSWの計52名となりました。

講演では、①心のスイッチ
の入れ方（自分を整える方
法）と②コーチングトレーニ
ング（傾聴と対話のトレーニ
ング）をポイントに実践も交
えながら『つむちゃん』ワー
ルドを楽しみました。

講演では、①心のスイッチ
の入れ方（自分を整える方
法）と②コーチングトレーニ
ング（傾聴と対話のトレーニ
ング）をポイントに実践も交
えながら『つむちゃん』ワー
ルドを楽しみました。

自分の心のスイッチを入れ
て自分自身のルーティーン（型）
を作ろう！というお話では、心を
整えることは難しいが体を整える
ことで心も自然と整う、というこ
とを実際に体験しました。参加者
からはどの場面でも活用できずぐ
に実践したいという感想が多く寄
せられました。傾聴と対話のト
レーニングでは、現状把
握・ビジョン・アクション
プランの123コーチ
ングに沿って話を聞きだ
す難しさや小さな承認、
振り返りは反省だけではなく「次
にどう改善するか」までを考
えること、良かったことも含めて
振り返ることが大事、など
実際の育成面接でも活用
できるような内容でした。
大雪が降りしきる中、
参加者からは、とても楽
しく有意義だった・集合
形式でよかった・もった
時間がほしかったという
感想が寄せられました。



（健生病院 白川乃理子）

今後も現場の声を抽出しつつ事務
育成に取り組んでいければと思
います。

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2024 2月号 380円 好評発売中

民医連で働く職員を追って

けんこう教室 脳がもたらす慢性の痛み
レッツ脳トレ

男の料理教室 京都

まちなちカラ 大分県玖珠町

食と健康 守っていききたい日本の豆腐

発行＝青森県民医連事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

2024年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙

『わたしのストレス解消法』を教えてください！

例：「よく寝る」、「汗をかく」、「体を動かす」など

「

」

理由：

応募の詳細は8面をご覧ください。

2023年度 上半期 経営検討会

12月2日(土) 浪岡中央公民館1階大ホールにおいて2023年度青森民医連上半期経営検討会を96名の参加で開催しました。参加者は事務のみならず、医師や看護師、薬剤師など多岐にわたり、全職種・全役職員での経営改善につなげました。

郡山医療生協の鹿又達治専務理事を講師に招き、「郡山医療生協の経営改善に学ぶ」をテーマとした学習講演をいただきました。鹿又専務からの「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」の選択、「何をするか」だけでなく「何をしないか」「決算のその先のことを示す」「資料や数字のデータを理解して、全体での共有と討議」「当事者意識」「知恵は現場にある」「本気ですれば仲間はずれについてくる」などのパワーワードは参加者たちの心に響きました。



その後、各医科法人の上半期経営報告、SGDを行い、今後の経営に生かすための学習を深めました。医科法人の近年にない厳しい経営状況(特に津軽保健生協)には危機感を持ち、これまでの延長線上の取り組みと先を見据えた転換案など、活発な討論ができました。

能登半島地震に伴う 義援募金ご協力のお願い

1月1日に発生した能登地方を震源とする最大震度7を観測した能登半島地震は石川県全域を襲い、石川民医連では、城北病院に対策本部を設置し、職員の安否確認、事業所の状況等の情報収集、城北病院、診療所の施設内片付け等に手付けして入りました。

青森民医連では、被災された方に少しでも力になれるよう災害義援金の取り組みを行うことといたしました。職員、患者・利用者、地域、生協組合員のみならず方にもご協力をお願いいたします。現地の状況は、「能登半島地震 石川民医連災害対策ニュース」でご確認ください。

した。また、普段聞けない他法人の奮闘を共有しあうことで、自法人の経営改善につなげる策のヒントを得る貴重な機会となりました。「私たち民医連が存在し続けるために、経営改善を進めなければいけない」という強い決意を持つことができた経営検討会となりました。(青森民医連 事務局長 宮本達也)



日頃のご愛読・ご協力に感謝して \ 定期便で応募OK /
抽選で **22名** にお年玉プレゼント

図書カード 1等(2名)3,000円分 2等(5名)1,000円分 3等(15名)500円分

下の応募用紙を切り取り、必要事項を記入して定期便、封書、FAXにて青森民医連青森事務所までお送りください。当選者の発表は3月号(3/15発行予定)に掲載いたします。

ご注意 郵送する場合は事業所の封筒や切手の利用はご遠慮ください。

2024年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙



機関紙「あおもり民医連」
お年玉プレゼント 係



必ず、下記と7面の記入も忘れずにご記入ください。

事業所名

ふりがな

所属部署

お名前

応募〆切 / 2024年2月14日(水) 必着 定期便・封書・FAX (017-773-5326) にてご応募ください。